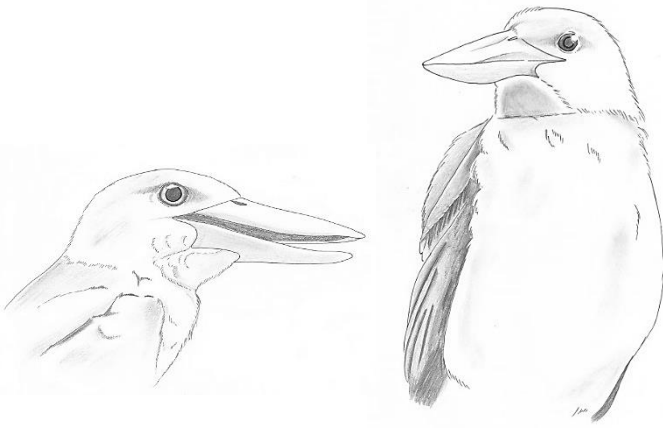




とねり自然図鑑

動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影した会員さんのつぶやき】 舎人はもちろん関東地方ではなかなか見られないアカショウビン。赤いくちばしを向け、遠くを見ているのはこれから越冬のため渡っていく先でしょうか。無事に渡れることを願います。



名称：アカショウビン（赤翡翠）
学名：Halcyon coromanda
体長：約27cm（翼開帳時は約40cm）
体重：約80g
分布：日本、韓国、中国、フィリピン、インド
主食：魚類、甲殻類、昆虫
天敵：テン、カラス、カケス

【別名、火の鳥】

○アカショウビンは赤い大きなくちばしに、体全体が赤褐色であるため、薄暗い森の中では一層際立ち、火の玉が燃えているように見えると言われることから、火の鳥の異名を持つ鳥なのです。

アカショウビンはカワセミの仲間で、繁殖期は梅雨時期です。雨が降りそうな時に「キョ□□□□□…」とさえずるので、雨乞い鳥または水乞い鳥とも呼ばれ、そこからいろいろな伝説が生まれたようです。例えば、「空に向かって鳴いているのは、悪いことをして水を飲めない罰を受け、ノドが渇いて雨を求めている」という説や、「実はカワセミが火事であって、水がなくて体が焼けて赤くなった」や「火事で死んだ娘の生まれ変わりで、水恋しと泣いている」など、いろいろな謂われがあります。その関係か、アカショウビンは国内だけでたくさんの呼び方がある珍しい鳥でもあります。

【国内でのいろいろな呼び名】

《渡来する場所からきた名前》
なんばんちょう、なんばんどり、なんばんげら
《色のイメージからきた名前》
あかどり、あかげ、とうがらしどり、とうがらししょうびん、とうがらししょうびん、からしどり、あかかわせみ、ひごいどり、きんぎょどり、ひどり、ひくいむし、むらさきしょうびん
《雨のイメージからきた名前》
あまふりどり、あまこいどり、さずいどり
《水のイメージからきた名前》
みずほしどり、みずこいどり、みずくらどり、みずこいてろろ
《鳴き声からきた名前》
きよーろー、きよろろ
《その他》
みやましょうびん、くっかる

「舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓
吉田巧 岩下緑 『鳴き声と羽根でわかる野鳥図鑑』 池田書店
大橋弘一 『鳥の名前』 東京書籍
樋口広芳 『日本の鳥の世界』 平凡社

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！